

事務事業名		越喜来地区認定こども園施設整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業			
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	15 学校教育の充実				会計	款	項	目
	基本事業名	01 教育環境の充実				01	03	02	04
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ		04	06		
所属	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		01	10		
	課長名	江刺 雄輝		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】		11	01		
	係名	電話	0192-27-3111	24 年度～ 28 年度		04	01		
	担当者	内線	280	※全体計画欄の総投入量を記入		01	00		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				事務事業区分					
東日本大震災で越喜来保育所施設が津波全壊。早急な教育環境を整えるとともに、幼稚園・保育所の効率的な運営を図るため、越喜来地区に幼保一体型の施設を建築する。 開園目標年次:平成28年度 平成26年度 敷地造成工事着工 平成27年度 敷地造成工事、建物工事着工 平成28年度 建物工事				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
				総投入量	事業内訳	国庫支出金	0		
				(千円)	財源内訳	都道府県支出金	30,219		
						地方債	0		
						その他	194,109		
						一般財源	67,339		
						事業費計(A)	291,667		
					人件費	正規職員従事人数	2		
						延べ業務時間	850		
						人件費計(B)	3,400		
						トータルコスト(A)+(B)	295,067		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
建物工事		ア	園舎整備数
			棟
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
越喜来地区認定こども園舎		名称	
		単位	
		カ	園舎の面積
			m <sup>2</sup>
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		キ	
越喜来地区認定こども園が新築される。		ク	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
安全・快適な学習環境がある。		名称	
		単位	
		サ	園舎の面積
			m <sup>2</sup>
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	148,194					
		都道府県支出金	千円	40,333					
		地方債	千円	0					
		その他	千円	53,768	30,607				
		一般財源	千円	13,443					
	事業費計(A)		千円	67,211	209,603	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	1				
		延べ業務時間	時間	200	150				
		人件費計(B)	千円	800	600	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	68,011	210,203	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	棟	1	1				
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m <sup>2</sup>	630	630				
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	m <sup>2</sup>	630	630				
		シ							
		ス							

事務事業ID	1437	事務事業名	越喜来地区認定こども園施設整備事業
--------	------	-------	-------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	住民から就学前教育の充実に係る要望があり、昭和54年度に公立3幼稚園（綾里、越喜来、吉浜幼稚園）が開設されたことがきっかけである。東日本大震災津波で越喜来保育所が全壊、この復旧にあたり、越喜来幼稚園との幼保一体化施設（こども園）として再建することとなった。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	全国的にも問題となっている少子化の影響で、公立幼稚園入園者数は減少傾向にある。平成19年度から越喜来幼稚園で、平成20年度から越喜来幼稚園と綾里幼稚園で4歳児と5歳児の混合クラスを実施。 地域住民の意向を尊重しながら、幼保一体化施設（認定こども園：幼稚園と保育所のそれぞれの機能を一体化した施設）の実現をめざす。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	幼保一体化施設について、市議会で質問されている。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 整備を進めることにより就学前教育の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公立の幼稚園、保育所の統合事業なので市が行う。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 認定こども園を整備するので、これ以上の追加・縮小はできない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 地域との意見交換を行ないながら事業を進めているので、これ以上の成果の向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 就学前教育を受ける幼児に対して安心・快適な学習環境を提供することが困難となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など） 園舎の設計にあたっては精査している。
	⑦ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど） 通常の業務ではなく特殊な業務であるので、これ以上の業務時間の削減や外部委託はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市の事業なので受益者負担はない。

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし (引越し、備品整備、開校催事対応等は学校教育課対応)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	所期の目的を達成し、事業を完了した。